

”
雛ひな

まつり
“
日一日と春めいて



'94 **3/15**

あまちゃづる (うり科)



◀ 葉に甘味があることからこの名があるという。薬草といわれる。

さるなし (またたび科)



▶ このあたりでは「こが」とも呼ぶ。キウイフルーツに近い植物で、果実酒にする。最近少なくなった。

〔佐戸岱 阿部達雄さん〕

14・木	13・水	12・火	11・月	10・日	9・土	8・金	7・木	6・水	5・火	4・月	3・日	2・土	1・金	31・木	30・水	29・火	28・月	27・日	26・土	25・金	24・木	23・水	22・火	21・月	20・日	19・土	18・金	17・木	16・水	15・火
ポスト愛護週間(〜20日)							世界保健デー	春の全国交通安全運動(〜15日)		町内小中学校入学式										商工会フレッシュユマンセミナー		世界気象デー		春分の日		中央小(10:00〜) 西小(10:00〜)卒業式	綴子小(9:30〜) 南小(9:30〜) 東小(10:00〜)	鷹小(9:15〜) 竜森小(10:00〜) 卒業式		高校入試合格発表

- 四季の野草 2
- 3月定例議会行政報告 4
- 平成6年度施政方針 6
- まちづくり町民会議
「遊」研修から、町長日誌 8
- シリーズ
「ケアポートたかのす」計画④... 10
読書感想文コンクール
- まちの話題
広報チャレンジクイズ 12
- 健康広場 14
- 暮らしの情報 16
- 鷹巣町美術展覧会ほか 18

〔表紙のことば〕



3月3日は桃の節句、ひな祭り。町立西幼稚園でもひな壇（中央に七段飾り、両側に園児の手づくりのおひな様）が飾られ、園児たちに甘酒とごちそうがふるまわれました。雪の多かった今年の冬も、日ざしにはぬくもりが感じられ、日一日と春めいてきているようです。

人口と世帯数	2月28日現在
	住民基本台帳による

総人口	23,439人（8人減）
男	11,267人（8人減）
女	12,172人（± 0）
出生	8人 転入 34人
死亡	12人 転出 38人
世帯数	7,410世帯（8世帯減）

カルチャー&スポーツ



ファルコン

- 3・20(日)21(月) ヤマハ音楽教室発表会 両日とも10:00~16:00
入場：無料
- 3・26(土) 三沢由美子音楽教室発表会 12:30~17:00
入場：無料
- 3・27(日) 堀部孝子ピアノ教室島山幸子音楽教室ピアノ・
エレクトーン発表会 13:30~17:00
※詳しいことは、ファルコン（62-3311）まで

中央公民館

3・19(土)~21(月) 第5回鷹巣町美術展覧会

高鷹大学

学生を募集します

町教育委員会では、平成6年度高鷹大学生を募集しています。入学を希望する方は、教育委員会生涯学習課（内線246）に申し込んでください。

ねらい

心の豊かさを求め、実・高年者の相互理解と共同意識の高揚を図る。

- 対象
鷹巣町在住の60歳以上の方。
- 期間
平成6年4月~平成7年3月（開講は、2カ月に1回の割合で、午前9時30分~午後3時）
- 内容
社会見学、講演の聴講、クラブ活動他。

行政報告

3月定例議会

平成六年三月定例議会は、三月十一日から二十四日までの会期で開会しました。議会初日は町長の行政報告及び平成六年度施政方針、提出議案の大綱質疑が行われ、十四日に一般質問、十六日から各常任委員会で付託議案が審議され、二十四日閉会の予定です。今号は、平成五年度の行政報告（一部次号に掲載）と、平成六年度施政方針の概要をお知らせします。なお、決定した議案については、四月一日号広報でお知らせします。

地域政策課関係

米代川流域地方拠点都市整備については、基本計画（素案）により、県及び国の関係省庁のヒアリングが実施されるなど、早期承認に向け取り組みを展開しています。まちづくり町民会議については、三月二日に提案や提言をとりまとめた報告書を提出いただきました。今後速やかに検討を加え、実施可能なものから反映してまいります。「遊」研修については、これまで北海道、九州などに四グループが研修し、体験報告会を行っています。

空港推進課関係

大館能代空港については、昨年十二月七日県の設置許可申請に対する公聴会が開かれ、十五名の公述人全員が賛成の立場から意見を述べました。また、十二月二十七日には待望の設置許可が下り、県が要求していた平成六年度空港建設予算二十五億五千二百万円も満額認められるなど、平成十年開港に向け、大きな



第一歩を踏み出しました。空港用地については、単価協議が合意に達し、知事地権者会との間で調印されました。

税務・財産管理課関係

税務課関係では、冷害の被害に対する平成五年度町民税の減免を行いました。減免者は六六七名、減免額は町民税で二百八十七万六千九百円、県民税で百六十四万二千七百円、合計で四百五十一万九千六百円となりました。財産管理課関係では、地籍

住民生活課関係

恒例の消防出初式で、初期消火功労者として明利又婦人会（五名）、渡辺吉美氏（川口）に対し町長から特別表彰を行いました。

平成五年中（一月～十二月）の火災発生状況は、件数で七件、死者二名、損害見積額で二千九百二十万七千円となっておりますが、件数、損害額とも大幅に減少したものの、焼死者が二名も出るなど、残念な結果になっております。

一方、交通事故発生状況は、人身事故が六十八件（前年五十二件）、死亡事故が一件（前年二件）、傷者が八十五人（前年五十五人）と件数、傷者とも増加しております。今後

鷹巣町外六カ町村衛生施設組合の「し尿処理施設工事」は、一月末現在で工事進捗率が九十九％となり、試運転が実施されております。三月下旬には引渡し性能試験が行われる予定ですが、新施設は既存施設より一日二十キロ以上の

処理量が増加し、一層の住民

サービスが図れます。

福祉保健課関係

福祉のまちづくりサテライト計画の第一号となる竜森地区コミュニティセンターが完成し、二月二十七日落成式が行われました。今後、地域福祉サービスの拠点となるものと期待されております。

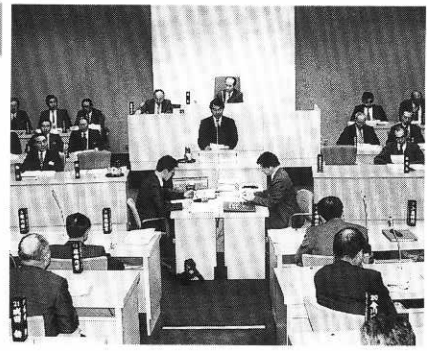
「住みよい福祉のまちづくり事業」の一環として町内小・中・高校生に作文、標語、ポスターを募集したところ百三十九点の応募があり、三月十日表彰を行いました。

主任児童委員制度が一月一日より発足し、当町では三名の方が厚生大臣より委嘱されております。

高齢福祉関係では、福祉のまちづくりワーキンググループ全体会が一月十二日行われ、活動内容のまとめとワーキンググループ独自の老人保健福祉計画が提案されました。

また、二月二十日第八回の福祉のまちづくり特別講演会が、阪南中央病院内科医長・岡本祐三先生を迎えて行われ、約三百名の聴講者は、医療現場での福祉との連携がいかに必要かを学びました。

保健関係では、一月から五



第8回福祉のまちづくり特別講演会

農林課関係

て健康づくり、健康まつり、デイケア事業など各種事業の

充実が図られております。

一月末現在の米集荷量は、限度数量一、三七八トに対して、六二トで、進捗率四九・四％（昨年は九〇・四％）、また一等米比率は六九・八％（昨年は九五・四％）となっております。

緊急種子確保対策事業は、補助事業の導入により、七七・七トとなり、確保に万全を期しております。

七カ年にわたり県営事業で進めていた吉野地区基幹農道整備事業は、今年度四二三トの舗装工事が完了し、全路線が供用開始されることになりました。

農業災害復旧事業は、今年度一億一千四百万円で、農地

及び農業施設六十九カ所の復旧に努めてまいりましたが、残り三十一カ所についても、六年度中に早期発注の見込みです。

町営林の保育管理については、作業道三路線一、四二九トの開削、下刈り、除間伐等は保育施設が延べ一九〇トを完了しております。

また、林道岩谷線が今年度中に全線完成することにより、岩谷集落から田代町大岱集落への往来が可能となります。

救農対策として、県単林道緊急整備事業（砕石敷きならし）を四路線一千百万円で直営事業として実施しております。

商工観光課関係

大太鼓の館入館者は、四月に県内初の「道の駅」に指定されたことにもない、二月末現在で四九、二五六人（昨年同期四五、六九三人）と目標を上回っております。

湯の岱温泉の利用状況は、二月末現在で入浴利用者が四九、二五六人（昨年同期四〇、

二五六人）（昨年同期四〇、三〇七人）、一日平均の利用者は一二八人となっております。出稼互助会加入者は二月末現在で二四二人（昨年同期二八八人）となっております。町内二高校の二年生を対象に企業視察会も実施しました。（四月一日号につづく）

さらに前進、新たなるまちづくり

平成6年度

施政方針

『参加・共同・連帯』を基本に

「やさしさと思いやり」そして

「活力」あるまちづくりのため

わが町は、二十一世紀を見据えた新たなまちづくりに向け、着実に動きだしています。

平成六年度は、「米代川流域地方拠点都市における拠点地区として、大館能代空港を核とした開発と都市機能の整備」

「町が活性化を図るうえで基本となる農林業や商工業などの地場産業の振興」

「自分の住んでいる町で、安心して老いを迎えるための在宅福祉支援・地域開放型施設「ケアポートたかのす」計画の推進」

「個性豊かな人材の養成と町民の学習意欲に添える生涯学習体制の確立」

など、町民とともに、「参加・共同・連帯」を基本に、諸施策を展開してまいります。町民の皆さんのご理解と協力を心からお願いいたします。

(鷹巣中学校改築工事)

《施政方針の概要》

地域政策課関係

▽町新総合発展計画（平成八年度スタート）策定のアプローチとして、町民から提案、提言を受け策定した「未来たかのす基本計画」については、さらに住民の参加を得て「地域計画」と「重点計画」（空港周辺、大太鼓の館周辺開発）を策定します。

▽「米代川流域地方拠点都市地域整備基本計画」については、大館能代空港を核とした拠点地区としての機能分担を踏まえ、空港周辺の開発やまちづくりを推進します。

▽企業誘致については、厳しい経済情勢にあるが、空港の町として臨空港工業団地と福祉の町としての全国的な知名度を前面に誘致活動を展開し、空港利用型企業の誘致に取り組みます。

▽「遊研修制度」、「ヤングマンテール」については、若者の定住と魅力あるまちづくりに向け、引き続き開設し、その実効をさらに高めてまいります。

▽住民参加型行政を推進する中で、職員の自主性と創意工夫により町民に分かりやすい行政、町民に愛される職場・職員を目指し開催される「たかのす町行政まつり」を推奨し支援してまいります。

空港推進課関係

▽大館能代空港建設用地買収については、公正な保証が確保されるよう、地権者会と連携のうえ、円滑な交渉、契約のための役割を果たすとともに、一部着工、盛土試験等の土木工事開始

にあたっては、交通安全、環境問題等に対処します。また、平成十年開港に向け、県及び建設促進期成同盟会とともに、需要創出策を検討してまいります。

財産管理課関係

▽舟場地区旧家畜市場跡地を環境保全等に配慮しながら、宅地造成事業（十五区画八〇）一〇〇坪を進めます。
 ▽地籍調査事業は、今泉地区（今泉字上野外）を中心に二五字、概ね四、一一〇筆、七八九（以下略）を調査します。

住民生活課関係

▽交通事故発生率の高いお年寄りの実態を踏まえ、「高齢者交通安全対策教育事業」の指定を受け、運動を行ってまいります。
 ▽消防については、第七分団（沢口）の消防ポンプ自動車をはじめ、小型動力ポンプ三台の更新、防火水槽（三基）消火栓（三基）を設置するなど防火体制の確立に努めます。
 ▽町営埋立処分場に「粗大ごみ焼却処理施設」事業を実施し、年々増加する廃棄物の焼却処理に対応してまいります。

福祉保健課関係

▽安心して老いられる地域・町を目指し、在宅福祉サービスの整備と、施設と在宅間で必要のつど往復利用できるサービスの連携した、在宅支援・地域開放型の拠点施設「ケアポートたかのす」計画を本年度より年次計画で実施します。
 ▽農協法改正によりJAにおいても福祉事業を実施できることになり、JAたかのす婦人部との提携による、在宅福祉ヘルプ活動のためのへ

ルバー研修を定期的に実施します。

▽成人病予防対策の基本である各種健（検）診率の向上に努め、保健指導員活動の強化と、自己健康管理意識の高揚を図ってまいります。

▽保健関係機関や町健康づくり推進協議会との連携により、健康大学、健康教室等各種健康講座を開催します。

▽国民健康保険は、老人医療費の増高が国保財政を圧迫していますが、訪問看護ステーション、保健婦、ホームヘルパーによる健康指導など、ヘルスパイオニアタウン事業と連携のうえ、国保制度の長期的安定確保に努めます。

農林課関係

▽農業所得の基盤である稲作については、食糧需給の適正化のため、主食用米一、二、〇四九（以下略）の生産に努め、農家経済の安定化を図ります。
 ▽順調に実績が伸びている町青果物集荷センターの有効利用と作付面積の拡大を推進するとともに、大館能代空港開港に向けたフライト農業（野菜、花き等）の確立を目指します。
 ▽畜産振興については、県単家畜導入事業の推進と家畜市場合併構想の実現、町営放牧場の活用による低コスト化などに努めてまいります。

▽今年度より新山村振興事業計画の策定に着手し、特産品加工施設、育苗センター、空港開港を見据えた農園付き都市交流施設を検討します。
 ▽大区画圃場整備事業は綴子地区八〇（以下略）、葛黒地区二八（以下略）の整地工事を予定しております。
 ▽林業振興については、森林施業の基盤である林道等の整備を推進してまいります。

商工観光課関係

▽中小企業対策として本年度もマルタカ融資に

年二・〇%の利子補給を行い、商工業者の経営資金の効率化、円滑化を図ってまいります。

▽若者の地元定着のため、高校新卒者、Uターン希望者に地元企業PR用ガイドブックを作成し、若年労働力等の確保に努めます。

▽大太鼓の館への誘客対策として、旅行者とのクーポン契約の推進、世界一の大太鼓を中心としたイベントの開催、PR活動などで全国にアピールしてまいります。

建設課関係

▽福祉のまちづくりと整合性を図りながら町民にやさしい道づくりに努め、高齢者用住宅の建築についても具体的な検討を進めます。

▽都市計画法及び建築基準法の一部改正による都市計画用途地域変更マスタープランの作成とケアポートたかのす計画との整合性を図りながら、中央公園の整備計画策定に取り組みます。

教育委員会関係

▽鷹巣中学校の改築においては、今年度第三棟（特別教室棟）に着手し、併せて周辺環境や駐車場を整備します。

▽町社会教育中期計画（五カ年計画）を策定し、町民の学習意欲を高めるとともに、県の「生涯学習モデル市町村事業」を導入して、生涯学習体制の整備と、学習団体の育成に努めます。

▽町内小・中学校に働きかけ、リサイクル運動を通じた町づくりボランティア運動を推進するとともに、公民館活動において各種ボランティアの人材育成を図ります。

▽幼児から高齢者まで、地域住民各層がスポーツに親しむ「生涯スポーツ」の推進を図るとともに、施設の充実に努めます。

まちづくり町民会議

町民の皆さんの声をより広く町政に反映させるため一昨年の五月に発足した「まちづくり町民会議」（相馬文夫会長）では、このほど最終報告書をまとめ町に提言がなされました。

「まちづくり町民会議」は六十名の委員で構成されており、産業、生活環境、福祉、教育文化の四部会に分かれています。それぞれの部会で数回に及ぶ討議、視察研修、中間報告の意見集約などを経て、このたびの最終報告となったものです。

この提言を受け、町では産業の振興、福祉の充実など平成六年度以降の諸施策の策定に反映させていく予定です。

以下では、提言された主な内容をご紹介します。



最終報告書を手渡し相馬会長

■第一部会（たくましく 柔軟な産業のまちづくり）

- ▽フライト作物（夏秋きゅうり）及び通年生産の研究、施設の有効活用と付加価値づくり、新産業（炭焼きなど）の掘りおこしなどによる農林水産業の振興
- ▽大型店舗の早期実現、地場産業の育成とバランスのとれた企業誘致、駅舎・駅前開発による商工業の活性化
- ▽空港アクセス道路のライトアップ、北国の気候を活かしたイベント、空港等を利用した壁画コンクールの開催、空

港を拠点とした圏域一体の観光などによる観光産業の振興

▽霊園分譲による都会からの観光・経済効果

▽福祉型観光温泉ホテルの新設を

▽温泉を利用した観光・福祉宿泊施設の設置

■第二部会（安全で快適 な生活環境のまちづくり）

- ▽緩衝緑地帯には、ノルディックスキークースやラグビー、サッカー場を整備、米代川河川敷の利活用（花・樹木等の植栽）をするなど空港周辺の

「遊研修レポート」

平成五年度から始まった「遊研修」。夢を実現するため、我が町・自分再発見のため、二十名の方々の参加があり、北海道で、伊豆・箱根で、大分で、それぞれの研修が行われました。この中から、一村一品運動発祥の地、大分県大山町などを訪れたグループから研修のレポートをいただきましたのでご紹介します。

いちごいちえ

一期一会のであいから

遊研修第三グループ 佐藤 利子

（七日市与助岱）

遊研修第一回セミナー以降、二十代の若者達の中で、私達（主婦三人）が、町のこと、自分のことを深く考える機会を得たことは、とても有意義なものでした。

十一月二十日から二十四日まで、四泊五日の主婦三人による遊研修、「幼な子を夫や両親に預けて身勝手な母親だ」と思う人もあるでしょう。確かに私達にとってそれが一番の試練でした。でも子どもと家族は、このことをバネにたくましく成長していました。

私達はこの遊研修で、人と人とのふれあいにより、ふるさととの良さを見つめ直す機会を与えていただきました。大

山町では、おいしい米、おいしい味噌、おいしい水に商品価値があるという、ごくあたりまえのことを学んだのです。

遊研修でのふれ合いを大切に、一人でも多くの人が町の良さを見つめ直し、それを分かち合うことが私達の使命であると考えるようになったのは、ごくごく自然のままでした。

研修三日目、大山町長との面会で得たことは、「人生に消しゴムなし」、「愛・夢・学・遊」、「ムダとダム」、「人生、夢とロマン」、「北風が暖かいところもある」等々は、考えさせられるものでした。また、総務係長の、「今

町長日誌

2/16~28

16日(水) 鷹巣町米消費拡大推進大会に出席、あいさつ。

17日(木) 前山自治会「町長と語る会」に出席、道路補修や生活排水路の整備、空港、福祉施策などについて懇談した。

18日(金) 秋田職業能力開発短期大学校落成披露の会に出席。

19日(土) 八戸地域社会研究会主催の『地域福祉フォーラム』に講師として出席、「地域福祉への取り組み」と題して講演をした。

20日(日) 第八回『福祉のまちづくり特別講演会』に出席、阪南中央病院(大阪府)の岡本祐三内科医長による「医療と福祉の新時代」と題しての講演を約三百名の町民とともに聴講し、病院、特別養護老人ホーム、自治体、保健所、社会福祉協議会それぞれの連係の必要性について提言を受けた。

22日(火) 県主催の「省資源、省エネルギー運動推進大会」に出席、あいさつ。

22日(火) 森吉町外四カ町村病院組合議会定例会に出席。

22日(火) 坊沢地区自治会「町長と語る会」に出席、長年の懸案であった坊沢川改修工事が平成六年度中に完成することを中心に、道路、用排水路の整備計画等について報告をした。

24日(木) 鷹巣町商工会、工業建設部会合同研修会に出席、「空港を核とした地域づくり…地域活性化と工業、建設業のかかわり」と題して講演をした。

25日(金) 大館能代空港用地単価調印式に出席、県と地権者会との協定書調印に立ち会った。

26日(土) 平成5年度鷹巣町スポーツ賞受賞式典に出席。

26日(土) 鷹巣町身体障害者協会主催の「野呂博昭選手リレハンメル冬季パラリンピック出場壮行会」に出席。

27日(日) 竜森地区コミュニティセンター落成式並びに祝賀会に出席。

整備を

▽市街地にトイレを設置、市街地を無積雪歩道に改修するなどの市街地整備を

▽ゴミ減量化対策及びリサイクル等に対するモデル地区を設定するなど環境の整備をはかる

▽遊設施設の設置、定期的イベントの開催などによる公園の整備を

▽町内の位置及び施設の案内板の整備を

▽今後の道路整備において、目的地への短絡道路ではなく迂回させる道路の検討を

■第三部会(健康で生きがいのある福祉のまちづくり)

▽高齢者の新種目の開発も含めたスポーツの振興を

▽若年層も含めた定期検診率

を高めるための行政指導を

▽健康に関する各種団体やグループなどの啓蒙活動を

▽早急に必要とされている託老所的な施設の整備を

▽「サテライト計画」は既存の施設を増改築し、早期利用(デイサービス、ショートステイなど)をはかる

▽障害者・高齢者のための生活環境の整備を(歩道や各施設の段差の解消)

▽湯の岱温泉の周辺整備及び交通対策(町民バスの運行、交通に対する補助)を

▽世代間交流、福祉教育の推進を

■第四部会(ゆとりと個性のある教育文化のまちづくり)

▽図書館活動の充実のため、

配本所の設置と移動図書館による地域巡回を行う

▽地区公民館に運営委員会の設置と相談できる人の常置を

▽社会教育事業の計画に住民を参加させ、提言や意見を募集する

▽青少年のボランティアの養成とボランティアリーダーの養成を早急に行う

▽学社連携推進委員会を再編する

▽子供を地域の行事や奉仕活動に参加させる

▽町立美術館、資料館の建設を

▽文化事業を多く実施するとともに情報を提供する

▽各種公演会場に保育室を設置する

日仕事で忙しいチイでも仕事は明日すりゃあいいんですチイ。ただ、今日ここにいる貴方達を明日案内するといつてもこれは出来ん事です。秋田に帰ってしまうでしょう。ですからこうしている。大山はいつでもお客様優先ですよ」と。

今日、この瞬間、こうしてこの人とであった。そこに意味を見出し、そのであいを大切にすることがどうか。人とのであいはお互いにエネルギーを与え合い、元気づけてくれます。であいをどのように未来につなげていくか。まずは今日のであいを大切にしていきたいと思えます。

この遊研修に参加した人は本音で行動したと信じています。だから心と心の触れ合いにであうことができたのです。旅へ送り出してくれた家族

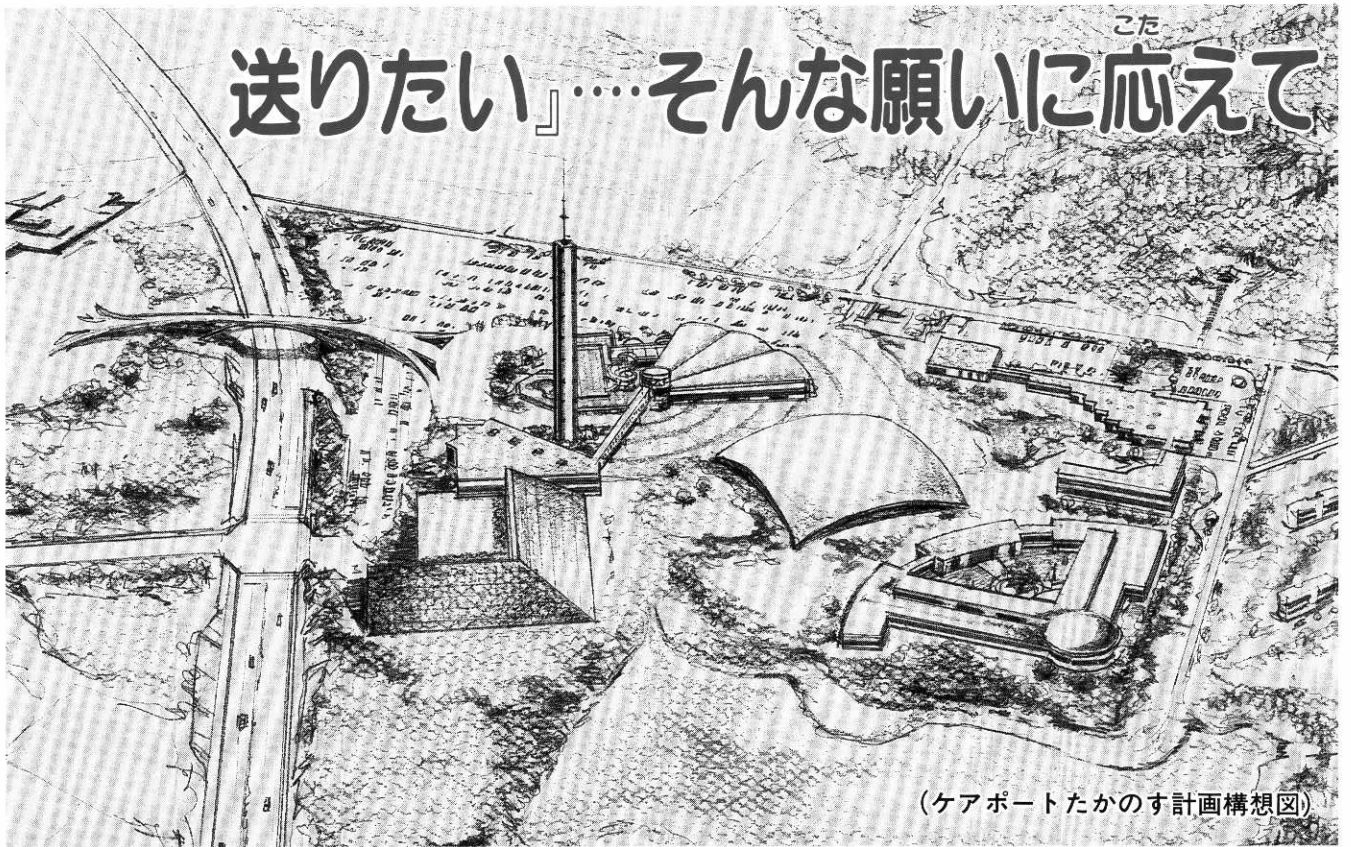
に感謝しながら、思いきって遊研修に参加してよかったと思うこのごろです。そして、本音で語り合うことのできる仲間づくり、それが町づくり、町の活性化の一助となるこの遊研修が継続され、多くの人達が参加されることを願っています。



大山町役場前で、町長、総務課長と

『この町に住み、安心して老後を

送りたい』……そんな願いに応えて

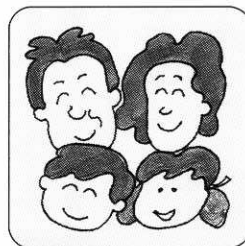


(ケアポートたかのす計画構想図)

ケアポートたかのす計画

||これが基本的な考え方です||

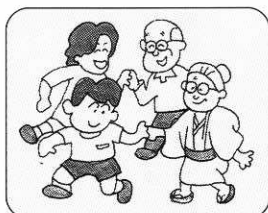
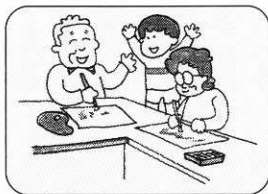
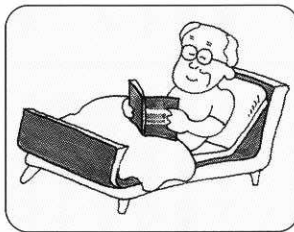
「家族に囲まれて幸せに過ごしたい」「これがみんなの願いです。」



ケアポートは在宅(家庭)で介護を受けている人が寝たきりにならないように、いろいろな福祉サービスが受けられます。



どうしても在宅での介護が困難な場合は、特別養護老人ホームに入所したり、また在宅復帰の訓練をして、施設と在宅の間を往復利用できます。



読書

感想文・体験文

コンクール

15人が特選に

第29回読書感想文コンクールと第13回読書体験文コンクール（主催＝鷹巣町立図書館、鷹巣町読書会）の表彰式が3月5日、たかのす風土館で行われました。

今回の応募作品総数は 216編で、審査の結果、特選15編、入選39編、佳作56編が選ばれ、次の方々が表彰されましたのでご紹介します。



読書感想文

【小学一年】

- ▽特選 島山範彦（中央）
- ▽入選 三浦真理子（鷹巣）
- 戸嶋悦子（東） 出川圭輔（綴子） 大川ゆい（竜森） 佐々木陽平、長崎寛子（西）
- ▽佳作 村上優（東） くらさわ佑介、かんなりかすみ（南）

【小学二年】

- ▽特選 島山翔吾（竜森）
- ▽入選 嶺脇拓、武藤杏奈（鷹巣）
- ▽佳作 和田咲子（鷹巣） 村上大啓（東） 戸沢正樹（南） としまひでの（西）

【小学三年】

- ▽入選 中村紋子（鷹巣）
- ▽入選 島山まどか（綴子）
- 近藤雅也（中央） 嶺脇恵、長崎浩之、成田健朗（西）
- ▽佳作 佐藤耕輔（東） 高橋守任（綴子） 明石栄（竜森） 鈴木智絵（中央） 長岐祐平、長岐紗織（南） 藤田潤一（西）

【小学四年】

- ▽特選 佐藤千恵美（東）
- ▽入選 柏木一成、佐藤直美（綴子） 佐藤香織（南） 桜井菜穂子（西）
- ▽佳作 中島美智子（鷹巣）

- 福原圭子（東） 鈴木祐毅（竜森） 佐藤舞子（南）
- 【小学五年】
- ▽特選 佐藤綾香（綴子）
- ▽入選 佐藤香織、高橋怜子（東） 細田美保子、島山直子（綴子） 近藤環（中央）
- ▽佳作 小林里佳、浪岡佳奈子（東） 能登谷太貴、兔澤睦子、島山弥寿子、奈良田夏子、照内理恵子（綴子） 佐藤恵利子（竜森） 岩本尚美（南） 伊藤志帆（西）

【小学六年】

- ▽特選 島山亜紀子（綴子）
- ▽入選 佐藤香織、高橋怜子（東） 細田美保子、島山直子（綴子） 近藤環（中央）
- ▽佳作 成田俊（鷹巣） 長岐健志（東） 堀内あずさ、大坂稔、小笠原麻紀（綴子） 佐藤大介（竜森） 熊谷笑美（中央） 細田健太（南） 津谷諭（西）

【中学一年】

- ▽入選 山田朋美（鷹中） 佐藤美輝子、神成夏美（南中）
- ▽佳作 岩本あさみ、佐藤朋美（南中）

【中学二年】

- ▽特選 池端久実（南中）
- ▽入選 熊谷望、田村磨以（鷹中）
- ▽佳作 長岐基子、近藤美祈子（南中）

- 【中学三年】
- ▽入選 中島聖子（鷹中）
- ▽佳作 佐藤貴史（南中）
- 【高校一年】
- ▽入選 藤本孝子（農林高）

【一般】

- ▽特選 成田明子
- ▽佳作 小笠原康子

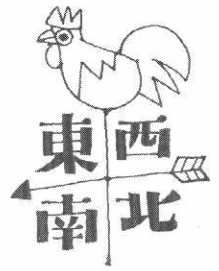
【親子読書】

- ▽特選 佐藤圭（西小二年） 佐藤周子（母）／武藤千穂（西小二年）・武藤淑子（母）

読書体験文

- ▽特選 三沢崇史（綴子小五年） 首藤亜文（南中二年） 佐藤利子（一般）
- ▽入選 戸嶋康博、黒羽佑佳（東小二年） 藤嶋秀美、嶺脇千恵子（一般）

- ▽佳作 戸嶋恵子、田村弥生（東小三年） 島山洋介、明石栄、島山美代子、鈴木ハンナ、明石陽子（竜森小三年） 藤原和巳、三上雄大、鈴木祐毅（竜森小四年） 佐藤喜美男、高橋栄、熊谷節子（一般）



冬の夜空に厄払いの火柱

— 葛黒地区「火祭りかまくら」 —

七日市葛黒地区に約二百二十年前から伝わる小正月行事「火祭りかまくら」が二月二十三日夜、地区住民総参加で行われました。

この行事は、葛黒の里の無病息災・無火災・五穀豊饒を祈願し火の神（不動尊）をお祭りするものです。

広場には、稲わらや笹の葉などがゆわえつけられた高さ二十センチほどの大木が直立され、これに点火すると、「ウワーツかまくらの権五郎」と火の消

えるまで歓声をあげて厄払いをします。

また同じ広場には小さなかまくらがたくさんつくられ、参加した地区の住民たちはその中をろうそくの火をともしながら今年一年の厄除けを祈願していました。

雪が舞うなか、対照的に赤々と燃え上がる火柱に、訪れた人たちが幻想的で風情のある小正月行事を満喫している様子でした。



新たな人生に向かって

— 農林高校・鷹巣高校で卒業式 —



三月は卒業シーズンですが町内ではそのトップを切って鷹巣農林高校と鷹巣高校で卒業式が行われました。

三月一日に行われた農林高校の卒業式では百六十七人の卒業生が「伊勢堂の杜」から巣立ちました。式典では、「三年間の高校生活で学んだことを生かしてがんばってほしい」との在校生からの送辞に卒業生代表の太田見祐広さんが「高校生活を土台にして探求心を持ち伝統を生かしていきいたい」と答辞を述べ、新しい人生への決意を表明しました。

一方、二日に行われた鷹巣高校の卒業式で学び舎を巣立ったのは百七十五人。式典では、卒業生代表の桜井実さんが「校訓と誇りを胸にがんばっていきいたい」と答辞を述べました。

式典終了後、卒業生たちはそれぞれの教室で最後のホームルームをしながら高校生活最後のひとときを過ごし、在校生が見送る中名残り惜しうに三年間学んだ学び舎をあとにしました。これからのご健闘をお祈りいたします。

県スポーツ功労賞

出川禮一氏が受賞

— 県陸上競技界の発展に貢献 —

平成5年度 秋田県体育協会 スポーツ功労賞 出川禮一氏受賞記念祝賀会



平成5年度県体育協会スポーツ功労賞を受賞した出川禮一氏（六十八歳・糠沢）の受賞祝賀会が三月五日行われ、同氏の功績をたたえ、栄えある受賞を祝いました。

県体協スポーツ賞は、スポーツ振興に尽力した個人や団体に贈られるもので、出川氏は県陸協、北秋陸協の会長を務め、組織づくりと人材育成など県陸上競技界の発展に大きな貢献を果たしてこられたことが認められたものです。

祝賀会では、湊屋昭一郎町体育協会会長が「出川氏は青年

年の育成と人づくりのために体育行政に力を注ぎ、体育館や全天候型陸上競技場を整備した。以来スポーツの町として各種大会を誘致し、町の経済発展にも寄与した」とあいさつしました。

花束贈呈の後、出川氏は「町民の理解で体育施設の充実が図られ、体育の向上に微力ながら貢献できました。今回の受賞は、個人の力ではなく、組織の協力で賛同によるもの。今後とも県陸上競技界の発展に全力を傾けたい」とお礼の言葉を述べていました。

まちづくりの意欲ある青年会

町連合青年会（成田正信会長）の創立三十五周年記念式典と祝賀会が三月六日、中央公民館で開かれ、会員やOBなどが出席してこれまでの歩みを振り返り、さらなる発展を誓い合っていました。

式典では、成田会長が「青年会員は少なくなっても、やる気のある青年はたくさんおり、明日の秋田や鷹巣をつくっていくという意欲がある。幸いにも平成十年には大館能代空港が開港し、町も大きく変わると思われるので、その時に我々

青年会員がまちづくりに参画し、この町の一部をつくったのだと思えるようにしたい」とあいさつしました。

その後、岩川徹町長など来賓のあいさつがあり、新秋田県青年会館建設募金を県連合青年会会長に贈呈した後、記念講演や祝賀会を行いました。

会場には、昭和三十四年の発足当時の会報などが並べられ、なつかしげに見入るOBたちの姿が印象的でした。今後のさらなる発展をお祈りします。



和雑誌 広報 クイズ

広報チャレンジクイズにご応募ありがとうございます。一月十五日号の正解は次のとおりです。

▽問一―東側　▽問二―一月三十日　▽問三―三月十五日

■当選者

▽中嶋夏美さん▽佐藤ひとみさん▽小笠原哲雄さん▽藤島長治郎さん▽阿部亜希子さん

■三月十五日号の問題

▽問一―大分県などをグループで研修したのは「〇」研修制度

▽問二―七日市葛黒地区に古くから伝わる小正月行事は？

▽問三―さつき培養法講座の講師金沢松男氏は〇〇教授

■応募方法・応募先

ハガキに、問題の答えと住所・氏名・年齢・職業を書いて係まで送ってください。

正解者の中から抽選で五名の方にテレホンカードをプレゼントします。

〒〇一八一三三 鷹巣町花園町十九一 鷹巣町役場広報広聴係

■締め切り

三月三十一日（木）

健康広場



福祉保健課からのお知らせ



保健婦からのメッセージ

赤ちゃんとお遊び

〈おもちゃ〉
赤ちゃんは、遊びの中からいろいろなことを学び、発育していきます。

おもちゃは子供の想像力をかきたて、知能の発育に影響します。手や足の運動をよくし器用さを養うことができ、目や口、手、耳などの感覚器官の発育にも大きな役割を果たしています。おもちゃは、子供の運動機能、感覚機能、情緒、社会性や知能といった赤ちゃんの健康な発育のために必要不可欠なのです。

赤ちゃんは何でもおもちゃにしてしまいますが、発育に合わせて危険のないものを選んで与えましょう。

〈歌遊び〉

赤ちゃんはおかあさんの歌が大好き。子守歌、手遊び、リズム遊び、絵かき歌、鳴き声遊びなどおかあさんが楽しめるものを、赤ちゃんといっしょに遊みましょう。

○手遊び

ドングリコロコロ・むすんでひらいてなど

○リズム遊び

おうまばっかばっか・ギッチラコギッチラコなど

○絵かき歌

はっぱが一枚あったときなど

○鳴き声遊び

犬はわんわん、蛙は？ 馬は？ など

夜間当番医(夜間診療) 日程表

(午後6時30分～9時)

3月	曜日	医療機関名	電話番号
16	水	戸嶋産婦人科医院	62-1123
17	木	近藤医院	62-1155
18	金	奈良医院	62-1146
19	土	北秋中央病院	62-1455
20	日	石川耳鼻咽喉科医院	62-1400
21	月	藤原医院	62-2882
22	火	佐藤外科消化器科医院	62-1420
23	水	佐々木産婦人科医院	63-0105
24	木	としま医院	62-1267
25	金	盛岡外科医院	62-1101
26	土	戸嶋産婦人科医院	62-1123
27	日	近藤医院	62-1155
28	月	北秋中央病院	62-1455
29	火	奈良医院	62-1146
30	水	藤原医院	62-2882
31	木	佐藤外科消化器科医院	62-1420

○応急の診療を要する患者。
○往診はしておりません。
○仕事や職場の都合で夜間診療を受ける場合は、診療に

※年齢・病気の症状にかかわらず当番医に電話等でご相談ください。
応じかねます。

献 血

あなたのやさしさに
感謝します

～銀色有功章

(献血30回以上)

3名が受章～

- 村上 耕治さん(吉野)
- 藤野 義則さん(舟場)
- 小坂 竜也さん(摩当)

3月の健康ごよみ

■22日（日）

○母子健康手帳交付と第1回妊婦教室

場所—中央公民館保健相談室

受付時間—午後1時～1時20分

（妊婦教室終了は3時）

持参—印かん

内容—母親の心がまえ、妊娠中期の生活指導、母乳栄養について／役に立つ各制度について／母子健康手帳の使い方についてなど

■23日（水）

○健康相談と健康教育

場所—中央公民館保健相談室

時間—午前10時～12時／午後1時～3時

内容—「老人ボケを防ぐ」

健康相談、血圧測定、慢性病予防教室（ビデオによる健康教室）

■25日（金）

○4カ月児健康診査

対象—平成5年11月生まれのお子さん

場所—中央公民館ホール

受付時間—午後1時～1時15分

持参—母子健康手帳、バスタオル

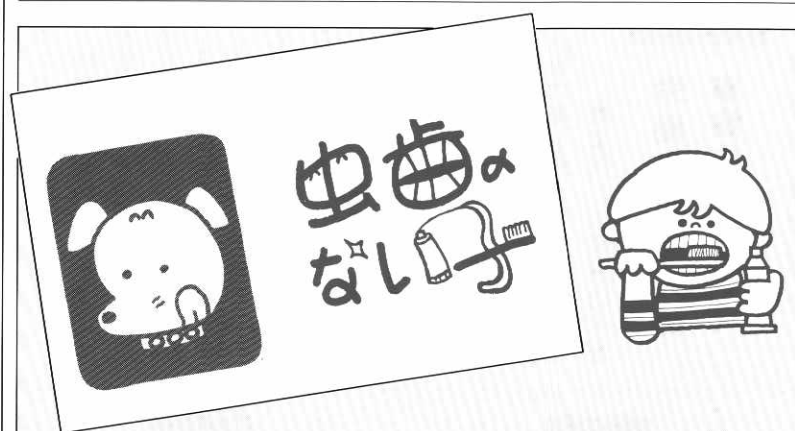
○7カ月児健康相談

対象—平成5年8月生まれのお子さん

場所—中央公民館ホール

受付時間—午前9時30分～45分

持参—母子健康手帳、バスタオル



～3月2日に行われた3歳児健診で
虫歯のなかったお子さんを紹介します～



松葉町
ふじしま かなちゃん



舟場
きたじま ゆうこちゃん



深 関
としま かなめちゃん



南鷹巣
かわた しょうちゃん

暮らしの情報

INFORMATION



お気軽に
どうぞ！

ゴミ焼き、稲ワラ 焼きに注意

春は空気が乾燥し火災の発生しやすい季節です。

昨年の鷹巣阿仁広域消防本部管内のゴミ焼き、稲ワラ焼きによる消防車の出動件数は十八件にのぼります。

ゴミ焼き、稲ワラ焼きをする時は、次のことに注意して行いましょう。

- 水バケツ一杯の消火準備
- 周囲に燃えやすい物はないか確かめる
- 焼却が終わるまで離れない
- 風の強い日は行わない
- 防火帯を設ける

鷹巣阿仁広域消防本部

労働保険加入の 事業主の皆さんへ

労災保険と雇用保険からな

る労働保険の、平成五年度確定及び平成六年度概算保険料について、年に一度の申告・納付手続きの時期となりました。

労働保険料の申告・納付は税金その他社会保険料と同様に大切です。

申告・納付時期は平成六年度に限り四月一日から五月一日までとなっております。

労働保険に加入している事業主と皆さんは、忘れずに秋田県雇用保険課、各ハローワークまたは秋田県労働基準局、各労働基準監督署に提出してください。

善意

町社会福祉協議会へ、次の方々から寄付金をいただきました。

ご芳志に感謝いたします。
▽ルンビニ幼稚園PTA様からバザー収益金の一部として一万円

香典返し

このほど次の方々から、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

ご芳志に感謝いたします。

《粗大ゴミ収集日》

3月23日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ○綴子地区（掛泥・高野尻を除く） ○沢口地区・南鷹巣・緑ヶ丘・蟹沢 ○七日市地区
3月24日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ○七座・坊沢地区（緑ヶ丘・蟹沢を除く） ○鷹巣地区（南鷹巣を除く） ○栄地区・掛泥・高野尻

※不明な点がございましたら、住民生活課環境生活係

☎62-1111（内線128・129）までお問い合わせください。

※詳しくは各町内回覧でご確認ください。

～おしらせ～

固定資産課税台帳の

縦覧について

平成六年度は評価替えの年であり、固定資産税の基礎となる資産台帳を次により縦覧できます。

▽期間 四月一日～四月二十日

（土曜日・日曜日は除く）

▽時間 午前八時三十分～午後五時十五分

▽場所 鷹巣町役場税務課資産税係

慶弔だより

2月15日～28日・敬称略



誕生おめでとう
ございます

福原 祥喜(基直 光美) 長男 旭町

松本 貴樹(明祐 宏子) 長男 住吉町

種田 大智(純隆 一子) 長男 住吉町



二人の前途を
祝福いたします

永井 紀吉 相善町

櫻田 美穂子 伊勢町

進藤 肇 あけぼの町

加藤 幸子 舟見町

おくやみ申しあげます

堀内 ハナ (94歳) 松原

松野 あい (65歳) 大町

小笠原マサ (92歳) 綴子大畑

佐藤清三郎 (75歳) 上野

成田 仁六 (90歳) 米代町

熊谷 シモ (79歳) 前山

「広報たかのす」

1年分を**500円**で
製本してみませんか

(希望者は3月31日(木)までに
広報広聴係に届けてください)



▽今泉|| 簾内照光さんから亡
父喜市さんの香典返し
▽花園町|| 大川健一さんから
亡母チヨさんの香典返し
▽七日市大畑|| 畠山国男さん
から亡父欣悦さんの香典返し
▽本郷|| 長岐純一さんから亡
母ヤエさんの香典返し
▽南鷹巣|| 堀部美津夫さんか
ら亡父嘉四蔵さんからの香典
返し
▽上野|| 佐藤祐悦さんから亡
父清三郎さんの香典返し
▽前山|| 熊谷唯雄さんから亡
母のシモさんの香典返し

ホームヘルパー (パート)

募集

鷹巣町社会福祉協議会では、21世紀の高齢社会に向け
て地域福祉の充実、在宅福祉サービス活動の充実をはかり
住みよい町づくりを進めるため、健康で奉仕の精神の
旺盛な人材を募集します。

受験希望者は下記の要領によりお申し込みください。

<ホームヘルパー (パート)>

- 職種 パートヘルパー
- 採用予定人員 若干名
- 受験資格 満20歳以上～満40歳
以下の方/鷹巣町に住所を有し
居住している方
- 業務内容 高齢者介護業務
- 勤務時間 平日(夜間を含む)
土、日曜日、祝祭日で2時間を
単位に勤務
- 選考及び期日 選考は面接方式
とし、本人あて通知
- 応募締め切り 3月25日
- 提出書類 願書、希望勤務時間
調査書、履歴書各1通
- 待遇・給料 鷹巣町社会福祉協
議会職員給与規程による他時間
給となります。



第5回

鷹巣町美術展覧会(町展)

みなさま多数のご来場をお待ちしております。

- 会期 3月19日(土)～21日(月)
午前9時～午後5時
- 会場 中央公民館ホール
- 部門 日本画・洋画・書道・写真・工芸
- 主催 鷹巣町芸術文化協会

さつきの花を咲かせてみませんか

さつき培養法(手入れ)

講座のお知らせ



- ▽と き 3月27日(日)
午後2時～3時30分
- ▽ところ 中央公民館3階大教室

- ▽申込み 鷹巣町教育委員会生涯学習課(電話可)
鷹巣町花園町15-1 ☎62-1111内線425・426
- ▽締切り 3月22日まで
- ▽その他 受講料は無料、筆記用具をご持参ください。

講師
金沢松男氏
[生涯学習奨励員]
[町民教授]

